

石田講師より『本試験当日の心構え』

本試験は実力だけでなく、時間と気持ちとの戦いでもあります。
時間に関しては、演習を繰り返して試験時間内に解ききる練習をしておきましょう。

気持ちに関して、頑張ってきた人ほど、結果を出そうという焦りと緊張でぐちゃぐちゃになってしまいます。

本試験当日のポイントとしては『問題全体を見渡し、一問一問にこだわりすぎないこと』です。

得意な範囲、解けそうな問題からパパッと解いてしまい、まずは気持ちを落ち着かせましょう。

実力で半分の 50 点、残りの 50 点に五肢択一の運で $50 \times (1/5) = 10$ 点
この合計が 60 点となり科目合格です。

ようするに電験三種において、試験問題の半分は捨てても良いわけです。
試験中はどうしても解けない問題に後ろ髪を引かれますが、半分は捨てても良いと分かっているならば、そこまで気にする必要はないわけです。

解けない問題が連続している時など、焦りと緊張で本来の実力が出せないことが多々あります。

『全体を広く見渡し』、どこで点を取るか、合格点の 60 点まではあと何問解けば良いのか、より具体的に試験制度を考えることで落ち着きを取り戻すこともあるので、『一問一問にこだわりすぎず』、上手に合格点を取りましょう。

もう一点、資格試験とはいっても、ふたを開けてみれば、知識が必要なだけのナゾナゾやクイズと似たようなものです。

解けないからといってすぐに諦めるのではなく、教科書に何て書いてあったかな、講義では何か言ってなかったかなと頭の中の知識と照らし合わせることで解けることもあるので、最後まで諦めない心を大事にしてください。

試験当日、本来の実力を発揮できるよう願っています。
